

## 世界の切手に見る消防関係の切手(9)

平 岩 道 夫 (切手評論家)



(写真①)

(写真②)



(写真③)

(写真④)

本号で紹介した6種の切手は、いずれもトンガから発行された変わりダネー。

1枚の切手に2つの図案を描いている、という異色版である。

(写真①)まず上部では、たった1本のマッチでも家を焼いてしまう、“火事になるぞ”と注意を呼びかけている。下部では引火しやすい薬品に×印をつけてある。

(写真②)上部では車で荷物を運ぶ際無理をすると荷ぐずれを起こすよ、という注意を喚起。下部では足を踏みはずし、梯子から落ちる様子。これが救助活動にもつながると、“赤十字マーク”入りの帽子をかぶった救急隊員と、頭に包帯を巻いた負傷者も紹介している。

(写真③)上部では、アルコール(ビールやワインなど)を飲んだあと車を運転してはダメ、ということ。つまり“飲んだら乗るな”と飲酒運転を禁止している。下部では自動車に十字架にダウン!!スピードの出し過ぎは事故のもと……。

(写真④)上部ではバイクを運転する時、安全のために必ずヘルメットをかぶることを訴えている。下部では正しい交通ルールを婦人警官が指導し、自転車の人と児童に



(写真⑤)

(写真⑥)

注意するように、教えている様子を描いた切手。

(写真⑤)上部では海での急激な天候の変化とラジオを描き、“天気予報を聞きなさい”と注意を呼びかけている。下部では海で溺れ、助けを求めると、救助に向かう人を描き“水泳を習おう”というわけ。

(写真⑥)上部はサメの泳ぐ海岸を描き“安全な海岸で泳ごう”と注意を喚起している。下部は割れたガラスビンの破片が散らばる砂浜と“危険”と書かれた看板を描き、“ガラスの破片にご用心”という標語が書かれている。

消防活動や看護活動を描いた“世界でも珍しい切手”というわけだ。